

京城新報

本報創刊於明治二十二年四月二十五日
發行所 京城新報社
印刷所 京城新報社
電話 三三三三
代售處 各埠各大書店均有代售

韓國に働きたる人物其十五

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●拓殖會社設立準備

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●羅州の賊狀

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●茂朱の賊狀

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●三水郡の賊狀

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●外國貿易旬報

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●佛教教師に望む

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●新不如歸

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●家庭の計

▲山東と云ふのは、新く朝鮮半島にある

●家庭の計

| 品名 | 本旬分 | 前月分 | 前々月分 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| 米 | 1,234,567 | 1,234,567 | 1,234,567 |
| 小麦 | 1,234,567 | 1,234,567 | 1,234,567 |
| 大豆 | 1,234,567 | 1,234,567 | 1,234,567 |
| ... | ... | ... | ... |

より集するは何等の誠實の意思なき之方...
法を以て説法するは愚であること...
新不如歸...
佛教教師に望む...



京城新報

民たるが二十四日には統監府會計課にて商品
を陳列賣買せり尙一行は京城龍山仁川の間に
約一週間滞在し遊覽旁行商し都合に依り
平壤迄赴き來月五六日頃歸校の豫定なり

老院の開闢

島、鹿島附近に於けるグチ漁は毎年昨今が本
數日、是以て何百荷の大漁となす由なるが本
年も其漁獲非常に多く茲一週間以前より仁
川水產會社に輸送された分のみにて、既に
五十萬匹を越わたりと而して其の相場は
一匹二錢内外なりと云ふ

國前首相

▲在留 帝國民自覺の時は來れり輿論は終に統監をして心機一轉其非を自覺せしめむ

▲有志 演説の歡迎せられたるは統監政治の誤謬にして在留民の怨を代表せる證據也

生技手及び護衛の

主上
 侍隨
 統監 政治の稅政は公の興り知らざる者
 多からむ之れ諒す也雖も方針誤謬の結果也
 幕僚 公の心事を誤解する徒輩ありて
 往々累公及よ幕僚の戒飾は忽にす可らず
 退韓 命令發行停止の如き其一例ならず
 や何れの國でも俗吏の犬蹠的仇討に陷る也
 兇徒 日長谷川大將の頭顱を漆して蓋す
 甲斐 蓋の價料と齊に

卒

[illegible]

以て政府の中心と

例文
 どの事也愈々現開朗俊の時には来る面黑
 京城 日報黒龍江鐵道を論じ首相ト
 ビンの臺語は最だ樂天的意見を発表せ
 兩頭 鷲旗の睥睨の傲者は鷲が極東倭
 政策の復活なりアムール江岸開拓は看板
 ール江岸開拓のみに多資
 投する程遙人は間拔けず机上の空論
 土耳其 古宮庭内奥地を掘り中央に日

裸負商團を部下に

軍醫 士國の條交條料今に纏らざるが速に
斯丹珍能傑克に日章旗を翻額たらしむべ
▲伊太 利士耳古の不得要領に怒て海軍
示威運動をなし漸く土政府護歩に決せ
▲縮倍 西有旗亭の飯盛に器量も悪いが
尻も大かい其膝は能く据るぞ洒落れ
▲古稀 を過ぎたる老僧尙は狂歌でもの
くらむとする元氣あり亦大黒の必要なき

5

釜山 ▲新内 葉明清元常盤津杯咽喉の秀でた
宿しものを撰抜し編纂發の行列流しは風流

出帆元山城津浦鹽行
前丸 五月廿日
御乗船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄
送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本
船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ